

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 【新】ぎふの木需要拡大ネットワーク活動支援事業費補助 金（サプライチェーン構築支援事業）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 販路拡大係 電話番号：058-272-1111(内3015)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,800 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	24,800	0	0	0	0	0	0	0	24,800
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・令和3年のウッドショックの影響により、輸入材が調達できなくなり急劇に国産材需要が高まった。これまで輸入材を多用していた工務店は木材調達に困窮した一方で、以前から県産材を活用していた工務店は、得意先の製材工場から優先的に供給され製材品調達にそれほど困らなかった。
- ・近年、県産材住宅着工数は横ばいで推移しており、これを拡大するためには輸入材を多用する工務店を取り込むなど県産材住宅を建設する工務店拡大が必要である。
- ・輸入材の供給量の回復や価格の低下があっても、継続的に県産材を使用する体制を構築しなければ、再び輸入材主体の住宅建設が多くなる。
- ・このため、新たに県産材を活用する工務店が、木材生産者、製材加工者の3者で継続して安定した取引ができる信頼関係を築くことが必要である。

(2) 事業内容

- ・川上の工務店、川中の製材加工・木材流通、川上の木材生産の3者で「県産材安定取引協定」を締結し、県産材住宅を建設した場合に、安定取引協定締結にかかる経費を助成する。また、これまで「ぎふの木で家づくり支援事業」に申請したことのない工務店が、協定に基づき県産材住宅を建設し補助金申請する場合の調整にかかる経費を助成する。

①サプライチェーン構築支援：@330千円/1者×60者＝19,800千円

②新規参入支援：@100千円/棟×50棟＝5,000千円

(3) 県負担・補助率の考え方
定額 (必要な経費の1/2)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	24,800	サプライチェーン構築支援@330千円/者×60者=19,800千円 新規参入支援@100千円/棟×50棟=5,000千円
合計	24,800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふの木で家づくり協力工務店数」及び「県産材住宅建設数」は第4期森林づくり基本計画(R4~R8)の目標指標として位置づけられている。

(2) 国・他県の状況

類似事業無し

(3) 後年度の財政負担

令和4年度以降も継続的に実施

(4) 事業主体及びその妥当性

県：県が直接関与することで協定の信頼性が高まる。

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ぎふの木住宅サプライチェーン構築支援事業費補助金
補助事業者(団体)	住宅建設事業者 (理由) 木材を調達する工務店等住宅建設業者に補助することで、県産材の需要拡大につなげるため。
補助事業の概要	(目的) 県産材の安定取引体制を構築し、県産材住宅建設拡大を図る。 (内容) 県産材安定取引協定締結に係る経費及び県産材住宅建設に係る経費相当額を補助
補助率・補助単価等	定額(人件費相当額) (内容) 協定締結調整 1者あたり330千円 県産材住宅建設調整 1棟あたり100千円 (理由) 調整に係る経費を補助
補助効果	・「ぎふの木で家づくり協力工務店数」、「県産材住宅建設棟数」の拡大
終期の設定	終期 令和8年度 (理由) 第4期森林づくり基本計画期間

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
「ぎふの木で家づくり協力工務店数」及び「県産材住宅建設棟数」の拡大

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①協定にかかる県産材住宅建設数(棟)	0	0	0	180	900	
②協定にかかる県産材利用量(m3)	0	0	0	2,520	12,600	

補助金交付実績 (単位:千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
